（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	吉田地区防災力向上事業を通じて、住民間の世代間交流の促進
事業主体 （連絡先）	吉田地区 吉田支所（0263-86-8611）
事業区分	(4)安全・安心地域づくり　(1)地域協働の推進
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,539,485 円　　（うち支援金：1,104,000 円）

事 業 内 容

吉田地区防災力向上のため、よしだ防災公園を拠点にし、全区民を参加対象とした防災関係を絡めた各種事業を開催した。更には、防災備品の拡充を進めた。

① 防災関係の各種事業
- 吉田地区防災会議・避難所運営委員会(6/12)
- 親子防災キャンプ(6/30.7/21.9/22)
- 星空観測会(8/16)　・避難訓練(8/27)
- ふれあい広場(10/8)　・防災イベント(10/8)

② 防災備品の拡充
- 防災倉庫内の防災備品の拡充を進めた。
  (防災用テント.非常用トイレ.救助用機材　他)

③ よしだ防災公園の環境整備(芝刈り.清掃等)4 回/年

【活動写真】

（　防災イベント開催：10/8　）

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① 防災関係の各種事業を開催し、吉田地区防災力の強化・継承が図られた。特に、防災イベントでは、子供さん達と防災に関する各種ゲームを実施し防災意識と知識を高めた。（イベント参加者 385 名）

② よしだ防災公園が吉田地区の防災公園としての認知度が高まった。（防災訓練参加者 130 名）

③ 防災倉庫に、防災備品の拡充が出来た。

④ 災害時だけでなく、平時でも利用できる吉田住民の憩いの場となる公園整備ができた。
（吉田文化祭時発表の場、園児の遠足の休憩　等）

【目標・ねらい】

① 吉田地区防災力の強化・継承。
② 三世代交流事業で住民の地域愛促進と、次世代担い手の育成。
③ 地域住民参加による公園整備

※自己評価【　B　】

【理由】

① 公園を拠点とした事業がほぼ計画通り開催でき、地域住民間交流が図られた。防災イベントは 385 名の来場者であった。

② 住民参加、手作りによる公園整備が計画的に実施出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

① よしだ防災公園を拠点とした防災関係の事業は継続し実施する。特に、防災イベント、ふれあい広場は３世代の世代間交流できる様なイベントとして工夫を重ね今後も継続開催する。更には、新しい住民も気兼ねなく参加できるプログラムとする。この事業を通じて、住民同士の地域愛促進と、次世代の人材育成を進める。

② 吉田地区防災会議・避難所運営委員会を吉田地区防災力強化の基本事業として捉え、１回/年継続的に開催する。

③ よしだ防災公園整備を住民参加による管理体制を構築し、維持管理に努める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある